

安城市内景況調査結果 (平成24年9月～12月)

〈 厳しい状況が続く景況、業種により来期見通しに格差あり 〉

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 55企業

2. 調査対象時期 平成24年9～12月期

(1)前年同期(平成23年9～12月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成25年1～3月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	19	6	11	19	55
構成比	34.5%	11.0%	20.0%	34.5%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIは、前年同期と比較し△36.4ポイントと大幅に低下しました。全産業ともに業況判断DI・売上高DI・売上単価DIがマイナスの数値となりました。

来期の業況判断DIについては、△21.8ポイントで製造業以外は引き続きマイナスを見込んでおり、回復に向けた行き先は依然不透明感が残る状況です。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△12.0	△36.4	△21.8
売上高	△16.0	△32.7	△21.8
売上単価	△42.7	△32.7	△23.6
資金繰り	△2.7	△5.5	△9.1
借入難度	9.3	3.6	1.8
収益状況	△12.0	△34.5	△23.6
雇用人員	△8.0	△12.7	△9.1

凡例▶

30以上  10を超える  10～△10  △10を超える  △30以上 

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△36.4		△31.6		△66.7		△9.1		△47.4	
	売 上 高	△32.7		△26.3		△50.0		△18.2		△42.1	
	売 上 単 価	△32.7		△21.1		△50.0		△27.3		△42.1	
	資 金 繰 り	△5.5		5.3		△16.7		△9.1		△10.5	
	借 入 難 度	3.6		15.8		0.0		△18.2		5.3	
	収 益 状 況	△34.5		△42.1		△50.0		△18.2		△31.6	
	雇 用 人 員	△12.7		△10.5		0.0		△36.4		△5.3	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△21.8		5.3		△50.0		△27.3		△36.8	
	売 上 高	△21.8		0.0		△50.0		△18.2		△36.8	
	売 上 単 価	△23.6		△21.1		0.0		△27.3		△31.6	
	資 金 繰 り	△9.1		0.0		△16.7		△27.3		△5.3	
	借 入 難 度	1.8		15.8		0.0		△27.3		5.3	
	収 益 状 況	△23.6		△15.8		△33.3		△45.5		△15.8	
	雇 用 人 員	△9.1		△5.3		0.0		△18.2		△10.5	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値です。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となります。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。

なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。